



V コマンド

この章では、コマンド名が V で始まる Cisco Nexus 1000V コマンドについて説明します。

vem

Virtual Ethernet Module (VEM) を設定するには、**vem** コマンドを使用します。VEM の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vem module-number [- module-number]
```

```
no vem module-number [- module-number]
```

シンタックスの説明	<i>module-number</i>	モジュール番号を指定します。有効な値の範囲は、3 ~ 66 です。
デフォルト	なし	
コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション (config)	
サポートされるユーザの役割	network-admin	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	ダッシュを使用して VEM の範囲を指定します (3-9 や 20-30 など)。	
例	次に、VEM を作成して VEM スロット コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。 switch# configure terminal switch(config)# vem 10	

```
switch(config-vem-slot)#
```

次に、VEM を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# no vem 10  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show module vem	VEM モジュールに関する情報を表示します。

version 9

NetFlow エクスポートに NetFlow エクスポート バージョン 9 を指定するには、**version 9** コマンドを使用します。バージョン 9 を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

version 9

no version 9

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード NetFlow フロー エクスポート (config-flow-exporter)

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

例 次に、NetFlow フロー エクスポートに対してバージョン 9 を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# flow exporter ExportTest
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)#
```

次に、NetFlow フロー エクスポートからバージョン 9 を削除する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# flow exporter ExportTest
switch(config-flow-exporter)# version 9
switch(config-flow-exporter-version-9)# no version 9
switch(config-flow-exporter)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
option exporter-stats timeout	NetFlow フロー エクスポート データ再送信のタイムアウト期間を指定します。
option interface-table timeout	NetFlow フロー エクスポート インターフェイス テーブル再送信のタイムアウト期間を指定します。
template data timeout	NetFlow フロー エクスポート テンプレート データ再送信のタイムアウト期間を指定します。
flow exporter	Flexible NetFlow フロー エクスポートを作成します。
flow record	Flexible NetFlow フロー レコードを作成します。
flow monitor	Flexible NetFlow フロー モニタを作成します。
show flow exporter	NetFlow フロー エクスポートに関する情報を表示します。
show flow record	NetFlow フロー レコードに関する情報を表示します。
show flow monitor	NetFlow フロー モニタに関する情報を表示します。

virtual-service-domain

ネットワーク サービス用にトラフィックの分類と分離を行うには、**virtual-service-domain** コマンドを使用します。仮想サービス ドメインを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

virtual-service-domain *vsd-name*

no virtual-service-domain

シンタックスの説明	<i>vsd-name</i> 仮想サービス ドメインを作成して名前を付けます。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)				
サポートされるユーザの役割	network-admin				
コマンドの履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(4)SV1(2)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(4)SV1(2)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.0(4)SV1(2)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン					
例	<p>次に、VSD のポート プロファイルを設定する例を示します。</p> <pre>switch# config t switch(config)# port-profile vsd1_member switch(config-port-prof)# vmware port-group switch(config-port-prof)# switchport access vlan 315 switch(config-port-prof)# virtual-service-domain vsd1 switch(config-port-prof)# no shutdown switch(config-port-prof)# state enabled</pre> <p>次に、仮想サービス ドメインの設定を削除する例を示します。</p> <pre>switch# config t switch(config)# port-profile vsd1_member switch(config-port-prof)# no virtual-service-domain vsd1</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show virtual-service-domain</td> <td>VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show virtual-service-domain	VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。
コマンド	説明				
show virtual-service-domain	VSD 名やポート プロファイルなど、現在 VSM に設定されている VSD のリストを表示します。				

vlan

VLAN を作成して VLAN コンフィギュレーション モードを開始するには、**vlan** コマンドを使用します。VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vlan {id | dot1Q tag native}
```

```
no vlan {id | dot1Q tag native}
```

シンタックスの説明

<i>id</i>	VLAN ID 番号です。有効な値の範囲は、1 ~ 4094 です。
dot1Q tag native	IEEE 802.1Q 仮想 LAN を指定します。

デフォルト

デフォルトの VLAN は VLAN 1 です。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ダッシュを使用して VLAN の範囲を指定します (1-9 や 20-30 など)。

例

次に、VLAN を作成して、VLAN コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vlan 10
switch(config-vlan)#
```

次に、VLAN を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no vlan 10
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vlan	VTP VLAN ステータスを表示します。

vmware dvs datacenter-name

VMware 仮想スイッチを作成するには、**vmware dvs datacenter-name** コマンドを使用します。仮想スイッチを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vmware dvs datacenter-name *name*

no vmware dvs

シンタックスの説明	<i>name</i>	スイッチ名です。
-----------	-------------	----------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	SVS 接続コンフィギュレーション (config-svs-conn)
----------	-------------------------------------

サポートされるユーザの役割	network-admin
---------------	---------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	仮想スイッチを作成するには、SVS 接続コンフィギュレーション モードで作業を行う必要があります。接続を作成してモードを開始するには、 svs connection コマンドを使用します。作成できる SVS 接続は 1 つだけです。
------------	---

例	次に、VMware 仮想スイッチを作成する例を示します。
---	------------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# svs connect s1
switch(config-svs-conn)# vmware dvs datacenter-name dcl
switch(config-svs-conn)#
```

次に、VMware 仮想スイッチを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# svs connect s1v
switch(config-svs-conn)# no vmware dvs datacenter-name dcl
switch(config-svs-conn)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show svs	SVS の情報を表示します。
	show vmware	VMware の情報を表示します。

vmware max-ports

VMware ポート プロファイルの最大ポート数を作成するには、**vmware max-ports** コマンドを使用します。最大ポート数の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vmware max-ports *number*

no vmware dvs

シンタックスの説明

<i>number</i>	最大ポート数を指定します。有効な値の範囲は、1 ~ 1024 です。
---------------	------------------------------------

デフォルト

32 ポート

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

設定する VMware ポートの最大数を指定するには、ポート プロファイル コンフィギュレーション モードで作業を行う必要があります。

例

次に、ポート プロファイルに VMware ポートの最大数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile testprofile
switch(config-port-prof)# vmware max-ports 100
switch(config-port-prof)#
```

次に、VMware ポートの最大数の設定を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile testprofile
switch(config-port-prof)# no vmware max-ports 100
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile name	特定のポート プロファイルに関する設定情報を表示します。

vmware port-group

VMware ポート グループを作成するには、**vmware port-group** コマンドを使用します。VMware ポート グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

vmware port-group *name*

no vmware port-group *name*

シンタックスの説明

<i>name</i>	VMware ポート グループの名前を指定します。
-------------	---------------------------

デフォルト

なし

コマンド モード

ポート プロファイル コンフィギュレーション (config-port-prof)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

VMware ポート グループを作成するには、ポート プロファイル コンフィギュレーション モードで作業を行う必要があります。

例

次に、VMware ポート グループを作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile testprofile
switch(config-port-prof)# vmware port-group testgroup
switch(config-port-prof)#
```

次に、VMware ポート グループを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile testprofile
switch(config-port-prof)# no vmware port-group testgroup
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile <i>name</i>	特定のポート プロファイルに関する設定情報を表示します。

vmware vc extension-key

拡張鍵を作成するには、**vmware vc extension-key** コマンドを使用します。

vmware vc extension-key *key*

シンタックスの説明

key 拡張鍵の番号です。有効な値の範囲は、1 ~ 80 です。

デフォルト

鍵は作成されていません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SV1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

拡張鍵は Virtual Center のインスタンスへの接続に使用されます。

例

次に、拡張鍵を作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vmware vc extension-key 10
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vmware vc extension-key	拡張鍵の情報を表示します。